



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和5年11月7日
第18号
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」
○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます
【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

がんばりました 校内マラソン記録会

11月2日(木)のフリー参観では、朝早くからご家族の皆様にご多数おいでいただきありがとうございました。

また、マラソン記録会については、悪天候であったことから急遽午後の開催としました。それでもたくさんの応援をいただくことができ、とてもありがたく思いました。低学年が1200m、中学年が1600m、高学年が2000mに挑戦した中で、特に保護者の皆様の温かい応援を受ける区間は子どもたちがはりきって走っている様子が印象的でした。

今年度もマラソン練習期間中にそれぞれが目標タイムを設定し、それに向かって努力してきました。当日は、いつも以上にがんばりを見せ、ゴール後は目標を達成した嬉しそうな表情がたくさん見られました。毎日の体調管理はもちろん、ご家庭でたくさん励ましていただいたからこそその結果であると思います。改めまして感謝申し上げます。

なお、今回3人の校内新記録樹立者が出ていますので、紹介いたします。

《新記録》	【1200m】1年 U.A	5分18秒
	【1600m】4年 A.A	6分22秒
	【2000m】6年 K.S	7分04秒



楽しい給食の時間



11月より給食が再開しました。これまでのお弁当持参のご協力に心より感謝申し上げます。

そして、今週からは集会室を活用し、いよいよ全校児童による給食の時間をスタートさせました。全校児童が集まって食べるのはコロナ禍以降で初めてとなります。まだ一方を向いての食事ですが、全校児童が集まるとなぜかわくわくし、楽しい気持ちになるものです。こうして家族的な雰囲気でも楽しく過ごせるのが二小のよさであり、見ていてとても嬉しいものです。

これからこの給食の時間を通して、楽しさだけでなく、「憧れ」や「思いやり」のあふれる場面がたくさん見られるようになっていくものと思います。

素直で優しい二小の子どもたち

二小の子どもたちの様子を見てみると、「なんて素直なんだろう」「優しい子どもたちだな」と感じるシーンがたくさんありますので、ここでいくつか紹介していきます。



スタンドマイクを使って発表する時に、下級生の高さに合わせて動かしてあげる上級生。優しいお兄さん・お姉さんだと感じます。



今年もふれあいセンタープールの皆様へ一人一人がお礼の手紙を書きました。充実した活動を行うことができた感謝の気持ちが、子どもらしく生き生きした表現で記されていました。



2年前から何度かご紹介してきました落合地区の子どもたちがゴミ拾いをしながら登校している様子。歩道にゴミが目立つようになると、自分たちで実施日を決めて実行しているところがすばらしいです。

教育相談実施中

11月6日（月）から10日（金）は教育相談期間中です。学校での生活を楽しく過ごすためのアンケートを実施し、それを基に個別で話す時間を設けています。

子どもに悩みや困難がある時は、いつでもすぐに話してくれるようになるとういのですが、そのためにもこうして定期的な相談の時間を設けていくことは大切であると考えています。毎日話している担任の先生であっても、「自分だけが話せる時間」というのは特別なようで、とても嬉しそうです。「なんでも相談して大丈夫」という気持ちをもてるよう丁寧に話を聞いて対応してきます。

12月には保護者の方との個別懇談もあります。どうぞよろしくお願いいたします。



学力の現在地の把握と目標の設定

4月に実施した全国学力・学習状況調査では、二小の国語は全国平均・県平均より「やや高い」、算数は、全国平均・県平均より「高い」という結果でした。5月に実施したふくしま学力調査でも、実施した4・5・6学年全てで、正答率や伸びでしっかりした成果が見られました。

しかし、大切なのは学校や学級の「平均値」ではなく、一人一人が自分の現在地を把握し、伸びていくことです。そのためにも、子どもたちには必要な資質・能力は身に付いているのか説明し、苦手な分野があれば補っていけるよう目標をもたせていきたいと考えています。きめ細かく見ることができるよう、二学期のまとめの時期もしっかり取り組んでいきたいと思ひます。